

不正除駆獣鳥

# 霧島市が調査終了へ 猟友会の一部は反発

霧島市の有害鳥獣駆

除報償金の不正受給問  
題で、市は15日、虚偽  
報告が疑われながら認  
めていない1人に対す  
る結論を出した上で、

近く調査を終える方針  
を示した。市議会一般

質問に答えた。猟友会  
関係者の一部は「全容  
が解明されていない」

と反発している。

虚偽報告を認めた29  
人について、当局は市  
議会で「聞き取り調査  
では、実際に捕獲はし  
たが、写真の不備で別

の（個体の）写真を提  
出したとの回答だっ  
た」と説明。個体数の  
水増しは「確認できな  
かった」と答弁した。

猟友会関係者による  
と、29人以外で、報償  
費が突出しているのに  
虚偽報告と認定されて  
いない例があるとい

う。関係者の一人は「狩  
猟期間中に捕獲して冷  
凍保存した尾や耳と、

別の個体の写真を提出  
する水増しが疑われ  
る。悪質な例は刑事告  
発すべきだ」と話した。

（藤崎慎二）